

次号
特集

精神科の知識

入院患者の精神科の問題への対処は、多くのホスピタリストが悩んでいるところだと思います。「妄想があったり、不安になったりしている患者」「さまざまな理由から精神科にかかりづらい患者」の診療や「薬物治療にかかわる副作用、これから行う内科治療との相互作用」など、知っておくべきことは多岐にわたります。

また「精神疾患が原因の救急来院」「セルフケアの欠如による内科疾患の増悪」はよくみられ、「急性期の入院管理を要するアルコールや薬物の中毒症状」「急性精神病状態」への対応も、救急医のみならずホスピタリストに必須の知識と思われます。診断、治療に加えて、法律/社会的な制度などは困惑する場合も多く、どこで患者をケアするか、転院までの対処をどうするかといった問題も出てきています。

このほか、不安障害、強迫性障害、統合失調症、身体表現性障害、うつ病などは外来管理が中心となるとは思いますが、しばしば専門内科で診断がつかずに総合内科に回ってくる場合があります。確実な知識があれば自信をもった診断と精神科紹介が可能となり、患者にとって有益と思われます。

本特集ではホスピタリストの皆さんに知っておいていただきたい精神科の知識を整理し、問題を言語化して対処していけるようなヒントを提示できればと思います。

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|------------------|
| 第1章 | せん妄 | 第7章 | 人格障害 |
| 第2章 | アルコール依存症・離脱 | 【コラム】 | 患者対応が困難な状況 |
| 第3章 | 薬物乱用 | 第8章 | 発達障害(成人) |
| 【コラム】 | その他の依存症 | 第9章 | 統合失調症 |
| 【コラム】 | 急性精神病疾患 | 第10章 | 不安障害、強迫症関連症 |
| 第4章 | 気分障害 | 第11章 | 身体症状症 |
| 第5章 | うつ病 | 【コラム】 | PNES(心因性非てんかん発作) |
| 【コラム】 | 精神病患者と混同されやすい疾患の鑑別疾患 | 第12章 | 摂食障害 |
| 第6章 | 精神科で使用する薬の副作用 | 第13章 | 入院患者の不眠や入眠困難 |
| 【コラム】 | 精神科で使用する薬剤と心電図のQTc延長 | 【コラム】 | 日本における精神疾患と法律の知識 |
| 【コラム】 | 非定型抗精神病薬のoff-label use | 【コラム】 | 患者の判断能力をどう評価する? |

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ■ Vol.1 (2013年) | No.2 総合内科のための集中治療 |
| No.1 ホスピタリスト宣言 | No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて |
| No.2 感染症 | No.4 内科エマージェンシー |
| ■ Vol.2 (2014年) | ■ Vol.8 (2020年) |
| No.1 腎疾患 | No.1 アレルギー |
| No.2 膠原病 | No.2 画像診断①胸部・縦隔編 |
| No.3 消化管疾患 | No.3 手技 |
| No.4 緩和ケア | No.4 病棟管理 |
| ■ Vol.3 (2015年) | ■ Vol.9 (2021年) |
| No.1 呼吸器疾患1 | No.1 膠原病2 |
| No.2 外来における予防医療 | No.2 内分泌疾患2 |
| No.3 循環器疾患1 | No.3 不整脈1 |
| No.4 血液疾患 | No.4 不整脈2 |
| ■ Vol.4 (2016年) | ■ Vol.10 (2022年) |
| No.1 代謝内分泌 | No.1 身体診察 |
| No.2 周術期マネジメント | No.2 脳梗塞 |
| No.3 腫瘍 | No.3 画像診断②脳脊髄編 |
| No.4 他科の知識1 | No.4 感染症3 |
| ■ Vol.5 (2017年) | ■ Vol.11 (2023年) |
| No.1 神経内科 | No.1 コマネジメント |
| No.2 呼吸器疾患2 | No.2 透析診療のすべて |
| No.3 感染症2 | No.3 栄養療法 |
| No.4 老年科 | No.4 STI/HIV |
| ■ Vol.6 (2018年) | ■ Vol.12 (2024年) |
| No.1 腎疾患2 | No.1 輸血のすべて |
| No.2 糖尿病 | No.2 薬物治療の質向上 |
| No.3 肝胆脾 | No.3 画像診断③腹部臓器編 |
| No.4 心不全 | No.4 精神科の知識 |
| ■ Vol.7 (2019年) | ■ Vol.13 (2025年) |
| No.1 外来マネジメント | No.1 FOCUS |

画像診断特集の第三段は「急性腹症」をメインに扱いました。まずは大幅な制作遅延があり、執筆、編者の皆様、楽しみにしてください。読者の皆様には大変申し訳ございませんでした。かなりのボリュームになりましたが、何度でも読み込んでいただければ、今回も保存版の内容に仕上がったと思います。編集部での作業は、文章や構成の調整から、誌面の見せ方にかかわるあらゆるものが対象になりますが、豊富な画像はもとより、そこから何を読みとるか、それぞれの語りが今回も醍醐味と感じます。編集においても、多様な語り口を邪魔しないように、さまざまに楽しんでいただきたいと思います。さらに、冒頭の「画像診断のより良い実践に向けて」は、一歩引いて全体を束ねる重要なコンセプトと感じられました。本特集がこの領域での理想的なコラボを模索する一助となればと思います。今後、画像診断を扱ったJHNセミナーも企画されています。どうぞ期待ください。

● 広告一覧

医学書院…534, 588
南山堂…548

南江堂…510
日本医事新報社…478

Vol.12 No.3 (第45号) 2025年7月1日発行

Hospitalist

(1部) 定価: 本体4,700円+税

ISBN 978-4-8157-2073-5

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話: 編集部 03-5804-6056 FAX: 編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: <http://www.medsico.jp> Eメール: hospitalist@medsico.jp
振替: 東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161

広告取扱 メディカルブレーション 電話03-3814-5980

文京メディカル 電話03-3817-8036

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。